



不足のはずが 捨てられるコメ

コメ不足による価格高騰が続く一方、毎日大量のコメが「廃棄」されている。

食品リサイクル会社「日本フードエコロジセンター」（相模原市）はスーパーやコンビニの食品工場など約200の事業者から余った食品を回収し、豚の飼料にリサイクルしている。炭水化物を中心に1日約40トが運び込まれ、そのうち3〜4トがコメ類だ。高橋巧一社長によると、食品工場では欠品となることを避けるため、多めにコメを炊く。余った米飯は店頭に並ぶことなく、運ばれてくることが多いという。

高橋社長は「いつでも、どこでも安く買えると思わず、消費者が自分ごととして捉え、個人個人でロスを減らしてほしい」と話す。

（藤原伸雄）

大型の鉄製容器に投入される大量の米飯
11月3日午後1時42分、相模原市